

## 「情報と教育」研究会 議事録

日時：平成 19 年 4 月 17 日 16:30-18:00

場所：湘北短期大学 1 号館小会議室

参加者：藤沢高校 住谷先生、茅ヶ崎高校 三橋先生

湘北短期大学 岩崎、小野目、山崎、小田井、藤澤、小棹（敬称略）

配布資料： 1 アンケート実施結果報告（3 月 14 日 実施連絡協議会 配布資料）

2 情報教育関連 論文等参考資料

3 購入済みリテラシー関連図書一覧

内容：

### 1. 研究会開催の趣旨と経緯の説明

● [準備段階における趣旨] を説明した。

● 研究を開始するにあたり、以下を確認した。

・ 「情報教育」にはコミュニケーション能力や論理的思考力の養成が含まれており、人間力や人間基礎力とも言い換えることができる。

・ 大学リベラルアーツ科目としての「情報」には、大学生として、また社会人として必要とされる社会基礎力ともいべき力を育成する内容が含まれる。

### 2. 研究会の名称変更の承認

● 「コミュニケーション教育研究会：キャリアを考えソーシャル力をつける教育の研究会」

### 3. 藤沢高校住谷先生：「入学前接続教育プログラムの開発・実践について」の提案

概要（プレゼン資料あり）

● 教育協定高校の推薦入試合格者を対象とする。

● 入試合格後、学習へのモチベーションを持続・発展させるため、接続教育プログラムを高校と大学の共同で開発・実践する。

● 実施時期は、長期休業中（冬・春）または 1 月以降の土曜日に実施予定。

● 接続教育プログラムは、「問題解決・課題達成型プラン」を検討。

● 今年度、7 月までに高校・大学で「問題解決・課題達成型プラン」の接続教育プログラム（試行案）を共同研究。

● 2008 年度入試要項配布前に、教育連携校への周知方法を検討。「接続教育プログラム」開催の PR 文書を作成・配布。

● 会場、費用、講師の確保等、を検討。

長期目標

● 教育機関の入学前に「人間（社会人）基礎力」を育成する。その基礎力として「問題発見力」「問題解決力」「コミュニケーション力」「プレゼン力」等を育成する。

● 高校 3 年間および高等教育機関 2 年間の計 5 年間で「キャリア教育」を身につけるような教育プログラムを高校と大学・短大等で共同開発する。（昨年度、「総合福祉系」の一つとして「栄養系」の「課題達成型プラン」（試行案）を作成した）

4. 本教育研究会で今後以下内容のテキストの作成とこれを用いた授業デザインを検討する。

- 名称未定
- テキスト読者をどうするか今後検討する（対象は教員か、学生か）
- 大学と高校双方の単位科目となる 15 コマ分の授業デザインとテキスト作成を行う（9 月完成予定）。
- 11 月－2 月の間に授業を試行
- 内容案
  1. 人間と情報
  2. コミュニケーション

方法と機能

さまざまなコミュニケーション方法・手段のしくみの理解

Dos and Don'ts

3. アカデミックリテラシー

個人的な作文(感想文)と報告書

ビジネス文書

論文

4. インフォマティックス

- 4.1 情報検索の手段

- 4.2 分類

- 4.3 知的財産権

著作権

引用と盗用

など

5. 論理的思考と問題解決

- 5.1 分析

- 5.2 手法

- 5.3 問題解決技法

6. 題解決実践演習

6. 今後の予定

次回開催予定：5 月 16 日(水) 15:30－

茅ヶ崎高校（世話役：三橋先生）

研究会の議事録、次回開催案内を連携各校に配布する。

以上